

地域連携型畜産振興対策事業実施要領

制定 令和4(2022)年5月20日 畜振第231号

第1 趣旨

本県の畜産は農業産出額全体の約4割を占めるなど、栃木県の農業をけん引する重要な産業であり、近年はクラスター事業の活用や ICT 機器の導入による省力化により規模拡大が進んでいる。

しかし、その一方で畜産農家は高齢化による担い手の減少や穀物の世界的な需要増加による配合飼料価格の高騰などにより厳しい状況にある。

このため、和牛繁殖経営の新たな担い手を確保するため耕種農家への和牛繁殖経営導入を支援することや、地域内で嗜好性の高い粳米サイレージを製造・流通する生産組織を育成することにより、本県畜産の更なる振興を図る。

第2 事業の内容等

1 本事業は、以下の2つの事業を実施することとし、その内容、事業実施主体、補助率等は、別表に定めるとおりとする。

- (1) 耕種農家への和牛繁殖経営導入支援事業
- (2) 水田を活用した自給飼料地域内流通体制整備事業

第3 事業の実施等

1 事業実施計画の作成

事業実施主体は、事業実施計画書(別紙Ⅰ-1及び2)を作成し、別記様式1により事業実施主体の所在地を所管する農業振興事務所長に承認申請し、その承認を受けるものとする。

2 事業実施計画の承認

農業振興事務所長は、1により提出された事業実施計画が、事業の内容を満たし、かつ、事業計画の達成が確実であると認められる場合は、これを承認するものとする。

なお、農業振興事務所長は、事業実施計画を承認した場合、当該事業実施計画書の写しを農政部長宛て1部提出するものとする。

3 事業実施計画の変更

次に掲げる事項の変更は、第3の1に準じて行うものとする。

- (1) 事業実施主体の変更
- (2) 事業実施地区の変更
- (3) 事業の中止又は廃止
- (4) 事業費の30パーセントを超える増減

4 取得財産に係る留意事項

事業実施主体は取得財産の管理状況を明確にするため財産管理台帳(別紙Ⅱ-1及び2)を整備して保管するものとし、その写しを事業実施主体の所在地を所管する農業振興事務所長に提出するものとする。

第4 事業完了の報告

- 1 事業実施主体は、事業実施年度の2月末日までに事業実績報告書（別記様式2）を、事業実施計画を承認した農業振興事務所長に報告するものとする。
- 2 農業振興事務所長は、事業実施主体から提出のあった実績報告書の写しを、速やかに農政部長宛て1部提出するものとする。

第5 事業実施状況の報告

- 1 事業実施主体は、事業実施年度の翌年から翌々年度までの間、当該年度の2月末までに事業実施状況報告書（別記様式3）を、実績報告先の農業振興事務所長に報告するものとする。
- 2 農業振興事務所長は、事業実施主体から提出のあった事業実施状況報告書の写しを、速やかに農政部長宛て1部提出するものとする。
- 3 農業振興事務所長は、事業実施状況の報告を受けた場合には、その内容を検討し、事業の成果目標に対して達成が見込めないと判断したときは、当該事業実施主体に対して必要な指導を行うものとする。

第6 事業の実施期間

この事業の実施期間は、令和4（2022）年度から令和6（2024）年度までとし、事業実施主体は事業実施計画書を提出した年度内に事業を完了するものとする。

第7 指導推進体制

- 1 事業実施主体は、事業を適正に実施するため、必要な実施体制を整備する。
- 2 県は、事業の円滑な推進を図るため、事業実施主体の指導に当たるものとする。

第8 その他

この要領に定めるもののほか、本事業の実施につき必要な事項については、別に定めるところによる。

附 則

- 1 この要領は、令和4（2022）年度の事業から適用する。
- 2 この要領は、令和8（2026）年度限りでその効力を失う。

別表 事業の内容、事業実施主体、採択要件等

事業名	事業内容	事業実施主体 ¹⁾	採択要件	助成対象経費	補助率
(1) 耕種農家への和牛繁殖経営導入支援事業	耕種農家への和牛繁殖経営導入に対する助成		家畜を飼養している耕種農家で、和牛繁殖経営導入に係る取組計画を策定していること。	耕種農家が和牛繁殖経営を導入するために要する経費 1 低コスト牛舎整備 和牛繁殖雌牛及び子牛を飼養する低コスト牛舎整備に係る経費 2 和牛繁殖雌牛導入 和牛繁殖雌牛導入に係る経費 3 和牛飼養管理技術 モデル農家が和牛飼養管理技術習得のための研修に係る報償費	1/3以内 (上限480千円) 定額(120千円/頭) (上限480千円) 定額(20千円/回) (上限60千円)
(2) 水田を活用した自給飼料地域内流通体制整備事業	粃米サイレージの調製に必要な機械整備に対する助成	耕種農家、畜産農家、農協等で構成される協議会等	粃米サイレージの調製施設の整備、運営計画を策定していること。	粃米サイレージの調製に必要な次の機械の整備に要する経費 1 破砕機 2 水分測定機器 (赤外線水分計等) 3 穀物輸送機器 (搬送オーガ、ダンブホッパ等) 4 粗選機 5 その他、目的達成のために農業振興事務所長が特に必要と認める機械等	1/3以内 (上限700千円/地区)

1) 協議会は2者以上の異なる役割を担う者が参画していること。

代表者の定めがあり、組織及び運営についての規約を定め、事業実施及び会計手続を適正に行うことができる体制を有していること。
事業の採択にあたっては1及び2の事業を併せて取り組む協議会を優先する。

別記様式1【事業実施計画(変更)承認申請書】

番 号
令和 ()年 月 日

〇〇農業振興事務所長 様

所在地
事業主体名
代表者名

令和 ()年度地域連携型畜産振興事業実施計画(変更)承認申請について

令和 ()年度において、地域連携型畜産振興事業を実施(変更)したいので、地域連携型畜産振興事業実施要領第3の1(3)の規定に基づき、関係書類を添えて(変更)申請します。

記

- 1 事業実施計画書(又は変更の理由)
(別紙I-1及び別紙I-2)

年度地域連携型畜産振興事業
 耕種農家への和牛繁殖経営導入支援事業実施(変更)計画(実績報告)書

1 事業の目的

2 事業実施期間

令和 () 年 月 日 ~ 令和 () 年 月 日

3 協議会等の構成員と役割

所 属 等	担当者名	主 な 役 割

4 対象農家の概要

地区名	
耕種農家名	
住所	
栽培概要 (1) 主食用米 ア 品種【面積(a)】 イ 反収【kg/10a】 (2) 新規需要米 ア 品種【面積(a)】 イ 反収【kg/10a】 (3) その他園芸品目 ア 品種【面積(a)】 イ 反収【kg/10a】	
労働力	
その他必要な事項	

*区分や枠は必要に応じ追加可能

5 成果目標

成果目標の内容	現状(年度)	計画	目標(年度)	備考
繁殖雌牛飼養頭数(頭)				
子牛出荷頭数(頭)				
平均販売価格(円/頭)				

※目標は事業実施年度の翌々年度の目標値を記載すること

6 取組(変更)計画(実績)

項目	目標(実績)	具体的な取り組み(実施時期等)
牛舎整備	牛舎面積： m ²	【例】 牛舎構造：パイプハウス牛舎 施工予定：8月中旬
繁殖雌牛導入	導入頭数： 頭	【例】 和牛繁殖雌牛(経産)導入 導入時期：8、10、12月
飼養管理等の研修	実施回数： 回	【例】 協議会員の和牛繁殖経営での技術研修 開催時期：5、7、9月
その他 (自給飼料生産等)		

7 事業に要する経費及び負担区分

(単位：円)

区分	事業費	負担区分		備考
		補助金	その他	
1 低コスト牛舎整備 支援	円	円	円	
2 繁殖雌牛導入支援				
3 和牛飼養管理技術 支援				
合 計				

8 添付資料

※協議会規約、会計規則等添付のこと

年度地域連携型畜産振興事業

水田を活用した自給飼料地域内流通体制整備事業実施(変更)計画(実績報告)書

事業実施主体名：_____

1 事業の目的（変更の理由）

--

2 事業実施体制の概要

事業実施主体名			
代表者名			
事業実施主体の連絡先	担 当 者	役職・氏名	
		電話番号	
		F A X	
		メールアドレス	
事業実施主体の構成員			

3 事業内容の（変更）計画（実績）

(1) 協議会の開催

開催時期	参集範囲	協議内容	備考

(2) 事業導入の成果目標

成果目標の具体的な内容	現状値 (R 年度)	R 年度	目標値 (R 年度)
粳米サイレージの生産量(t)			
粳米サイレージ取組面積(ha)			
粳米サイレージ生産戸数(戸)			
粳米サイレージ利用戸数(戸)			
備考			

※現状値は事業実施の前年度、目標値は事業実施の翌々年度とする。

成果目標は、生産量の増加を必須とし、その他事業実施主体が設定する項目がある場合は記載する。

(3) 機械の整備計画（実績）

導入する(した) 機械名及び数量	仕様・型式	能力	事業費	単価 (円/台)	備考

(4) 機械の利用体制

機械利用者名	機械導入場所	備考

(5) その他・目的達成のために必要な取り組み

実施時期	内容	備考

4 事業費の内訳

経費項目	総事業費	負担区分	
		県費	自己資金等
	円	円	円
計			

5 添付資料

※団体規約、会計規則等添付のこと。

別記様式2【事業実績報告書】

番 号
年 月 日

栃木県〇〇農業振興事務所長 様

事業実施主体名
代表者氏名

令和 年度地域連携型畜産振興事業実績報告書の提出について

地域連携型畜産振興事業実施要領（令和4年5月20日付け畜振第231号）第4の1の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

記

（添付書類）

事業実績報告書（別紙Ⅰ－1及び別紙Ⅰ－2）

財産管理台帳（別紙Ⅱ－1及び別紙Ⅱ－2）

別記様式3【事業実施状況報告書】

番 号
年 月 日

栃木県〇〇農業振興事務所長 様

事業実施主体名
代表者氏名

令和 年度地域連携型畜産振興事業実施状況報告書の提出について

地域連携型畜産振興事業実施要領（令和4年5月20日付け畜振第231号）第5の1の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

記

（添付書類）

事業実績報告書（別紙Ⅲ－1及び別紙Ⅲ－2）

年度地域連携型畜産振興事業
耕種農家への和牛繁殖経営導入支援事業実施状況報告書

事業実施主体名：_____

1 和牛繁殖部門経営状況

		事業実施年度 (R 年度)	R 年度	目標年度 (R 年度)
繁殖雌牛飼養頭数 (頭)	計画			
	実績			
子牛出荷頭数 (頭)	計画			
	実績			
平均販売価格 (円/頭)	計画			
	実績			
附記事項				

2 その他

※その他事項【耕種農家に和牛繁殖経営を導入した上での成果や課題などを】記載すること。

年度地域連携型畜産振興事業
水田を活用した自給飼料地域内流通体制整備事業実施状況報告書

事業実施主体名：_____

1 粳米サイレージ生産状況

		事業実施年度 (R 年度)	R 年度	目標年度 (R 年度)
生産量 (t)	計画			
	実績			
取組面積 (ha)	計画			
	実績			
生産者戸数 (戸)	計画			
	実績			
利用者戸数 (戸)	計画			
	実績			
附記事項				

2 その他

<p>※その他の事項【耕畜連携の取組状況(現状や課題など)、機械の整備状況等】を記載すること。</p>
--